

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点、問題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	0	0	定められたスペースは確保できています。運動などで体を大きく動かすことはありますが、限られたスペースを効率よく使えるよう安全を担保しながら活動内容を考えています。基本的には一度に利用する子どもの人数は、2～3名となっています。
	②	職員の配置数は適切であるか	10	0	0	法律の定数を守り、加えて理学療法士や作業療法士、心理士、保育士等の有資格者を配置しています。
	③	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	0	0	運動、一人で勉強、先生と勉強、クールダウンの場所を明確に分け、スケジュールを見て自分で移動できる工夫をしています
	④	生活空間は、清潔で、こころよく過ごせる環境になっているか。また、子供達の活動に合わせた空間となっているか	9	0	1	子供たちの動線に危険なものや邪魔になるものがないかの安全点検と、消毒・殺菌を兼ねた清掃を毎日行っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	0	0	毎日の朝礼、セッション前の打ち合わせ、セッション後の振り返りにて徹底しています。グループラインで情報を共有しています。また定期的に社内ミーティングを行っています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	0	0	評価表に加えて、面談や送迎の際にも積極的に聞き取りを行い、改善点・問題点に早急に対応出来るよう努めています。
	⑦	事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	0	0	毎年アンケート調査を行い、ホームページに結果を載せ、公表しております。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	6	4	第三者委員会は設置していません。客観的にどう思うかを第三者に確認して改善につなげようと努める事はあります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	0	できるだけ多くの職員が参加できるよう環境調整し、事業所内研修又は外部研修を月に1回以上行っています。参加できない場合は、伝達研修を行っています。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10	0	0	聞き取りや検査結果を踏まえて、本人の状況を十分に観察したうえでアセスメントしています。計画作成後にアセスメント内容に変更があり、支援の方向性に変更が必要な際は、早期に保護者様への説明を行うと共に、計画や支援内容変更のご提案をしています。

適切な支援の提供

⑪	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	0	1	標準化されたアセスメントツールを基本とした独自のアセスメント様式を作成して使用しています。子ども達の状況や支援内容に応じて、適切かと思われる様式があったら、その都度変更する事があります。
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	10	0	0	移行支援：支援の必要性などを考慮したうえで年長の子を対象に行っています。 家族支援：家庭訪問し、ご家庭での状況を見聞きしたり、ゆっくりと相談に乗る時間を設けています。 地域支援：地域資源をお借りして「外出支援」として公園や飲食店にて活動を行ったり、地域の方の畑を開放して頂き、一緒に収穫体験なども行っています。
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	0	計画作成後に、職員全員が全利用者分を定期的に読み返し、一貫性かつ統一性のある支援を心がけています。
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	0	0	利用者一人に対して複数の職員で意見交換を随時行なっています
⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	10	0	0	マンネリ化しないよう書籍、ネット、動画、研修等から広くバリエーションの収集に努めています。また、同じ活動プログラムをどれくらい続けるのか、目標達成度合いを観察し、判断しています。
⑯	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	10	0	0	スケジュールに個別活動と集団活動の時間を分けて設けています。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	0	朝礼とセッション前の打ち合わせにて確認をしています。いつもと違う内容や職員で行う場合は特に入念に打ち合わせしています。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	0	0	最終利用者が帰られた後に、ミーティングにて反省点や今後の課題を話し合っています。内容は職員間でグループライン等も活用し、周知・共有しております。
⑲	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	0	次回の支援に活かせるよう意識して、支援内容、様子、評価等を出来るだけ具体的に記録することを徹底しています。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	1	半年に一回または、必要に応じてモニタリング、見直しを行っています。
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	0	0	児童発達支援管理責任者及び、専門性を持つ心理担当職員が参加・資料作成しています。
㉒	母子保健や子供・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9	0	1	他機関と併用されている方には、同意を得たうえで計画書を共有していただいたり、必要に応じて連携を図り、一貫性・統一性のある支援を目指しています。

関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供等を支援している場合) 地域の保健、医療障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	6	4	看護職員は配置しておらず、医療的にケアが必要な児童は受け入れしていない。
	㉑	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供等を支援している場合) 子供の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	6	4	看護職員は配置しておらず、医療的にケアが必要な児童は受け入れしていない。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0	1	保育園(幼稚園)を訪問して担任の先生と密に連絡取っています。また支援会議に参加する際は情報共有をしています。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	2	支援会議に参加する際は情報共有をしています。学校の情報は、親御さんを通して収集することもあります。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	0	2	研修にはできるだけ参加し、専門機関と連携を図っています。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	5	0	5	コロナ等の感染予防等の観点から、慎重に様子を見ています。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8	0	2	地域の子供部会に所属しており、研修にはできるだけ参加しています。
	㉗	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	0	セッション毎の連絡帳とは別に、ラインでも情報交換をしています。本人に聞かせたくないことやじっくりと考えていきたいこと、記録に残しておきたいことは書面やラインを活用しています。 また、保護者様が孤立しないように面談や家庭訪問を積極的に行っています。
保 護 者	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	0	2	面談や情報共有、アドバイスは密に行い、必要に応じて親子セッションも行う場合があります。 保護者が孤立しないように面談を行い、必要に応じて行政とも連絡を取るようになっています。
	㉙	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0	0	契約締結の前に、運営規定・重要事項説明書について説明する時間を十分に取 り、不明な点がないか確認しています。
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10	0	0	面談の際、評価とアセスメントをもとに作成した計画について、具体的な支援内容を説明します。保護者様も同じ方向性で進むことを希望されるか確認したうえで、同意を得るようにしています。
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	0	できる限り定期的に面談や家庭訪問をして相談に乗れるようご提案しています。毎月訪問ができておられるお宅もあります。訪問が難しい場合は、送迎の際やラインにて困りごとがないかお尋ねしています。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	0	2	保護者様同士の交流のために、不定期ですが茶話会やイベント、研修会などを実施しています。

護者への説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者等に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	0	上記のように相談体制は整えています。相談があった場合には可及的速やかに訪問やその他の方法で詳しく話を聞いて対策を検討し、早期実施しています。子供たちにも常に相談（SOSやHELP）ができるように、支援の中に相談の仕方について組み込み教えています。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	8	0	2	毎月、児発だよりを作成し配布しています。その他、伝達事項は都度文書やラインでお伝えしています。また、個別に写真を撮って活動の様子を共有することもあります。
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	10	0	0	個人情報が記載された書類は鍵がかかった所定の場所から動かさず管理しています。また、個人情報が含まれた内容を口にするときは周囲に人がいないか配慮しています。
	③⑨	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	0	個々に最も適切な意思疎通の方法をとるようにしています。児童に対しては視覚支援や言葉遣いに配慮し、保護者様に対しては場面や内容に応じ口頭・電話・書面・ライン等使い分けております。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	0	3	地域の方の畑をお借りして、収穫体験をしました。地域交流、今後も継続していきます。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9	0	1	各防災マニュアルは策定しています。職員間での周知確認はできています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	0	避難訓練は火災や地震を想定し、半年に1回程度の間隔で実施するよう計画しています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等こどもの状況を確認しているか	10	0	0	子供たちの持病や服薬、考えられる危険性等について事前にアセスメントを行い、職員間で周知しています。
	④④	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	2	事前のアセスメントにてアレルギーの有無を確認しています。アレルギー持ちのお子さんがいらっしゃれば、医師の指示のもと、正確な対応が出来るように職員間で周知していきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか	10	0	0	事例集を作成し共有しています。また、口頭で共有して記載してないこともあるので今後のためにもしっかりと記載していきたいです。

④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0	0 虐待防止委員会・研修会を実施しており、適切な対応を学んでいます。また、常に職員間でお互いの支援を確認し、虐待につながる行動が起こっていないか注意しています。
④7	どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10	0	0 研修を行い、身体拘束をやむなく採用する際の三要件を学んでいます。身体拘束をしなくて済む工夫をするとともに、もし身体拘束をした場合は必ず報告する旨を説明し、同意をいただいたうえで支援を行っています。